



視察の目的



東日本大震災で被害を受けた宮城県女川町を拠点に支援活動を行う一般社団法人コミュニティースペースうみねこ※では、海の仕事ができなくなった漁師の新たなやりがいある仕事として、農産物の生産を始め、農薬を使用せず、安心・安全にこだわり様々なアイテムを開発しています。うみねこの取組みや被災地の現状を学ぶために、共同購入政策委員会とサステイナブル政策委員会の組合員6名と事務局で、5/24（金）～25（土）に女川に行ってきました。

これまで、ブロック会議等で復興支援の活動を行ってきましたが、今回の視察で唐辛子の圃場の確認を行い、埼玉の組合員全員に「潮風とうがらし」の利用を呼びかけ、多くの仲間とともに応援していきます。

※代表：八木純子「必要なときに必要なことを」を合言葉に、1.おかあさんたちの元気を作る
2.おとうさんたちの元気を作る3.ボランティアの笑顔を作る4.地元雇用をつくることを目指して活動中。

浜ばっぱの会（英字新聞バッグづくりでコミュニティーを）



震災後復興で女川は防波堤を作らない選択をしました。港から少し上がっていった所にある宮ヶ崎集会所で、笑顔の素敵な浜ばっぱのメンバーは持ち寄ったお茶菓子を食べながら待っていてくれました。

地域伴奏型支援として社会福祉協議会と共に、うみねこ代表八木さんが地域のお年寄りのコミュニティーを取り戻し、作った物で得る少しのお小遣いをやる気につなげるために作った居場所。

作業を分担し、紙面の特性を生かす工夫や取っ手の作り方のコツを教わり、震災当時の厳しい状況を聞きながら、とても有意義な時間を浜ばっぱのメンバーと共にしました。



英字新聞バッグ

高橋徳治商店（同地域の生産者の取組）



旧本社の門扉

津波は24メートルの巨大な怪物となって、港を飲み込んだそうです。工場は全壊。苦渋の選択で、高台に工場を移転し、新社屋には震災遺構を敢えて移築しています。

社長は被災した若者の引きこもりに心を痛め、就労訓練の場として「野菜加工場」を建て、支援を続けています。



工場

野菜加工場

うみねこの活動と八木さんのお話から



うみねこ代表 八木さん

大震災を機に新たなコミュニティー作りと働く場作りに奔走し、高齢者の居場所「お茶っこ」を開設し手作り品を販売。1か所から始まった地域伴走型支援は今や18か所に上ります。無農薬の唐辛子とイチジク葉茶は元漁師の仕事創出につながっています。新たに开店した惣菜屋「はんじろう」は若い世代の働く場ともなる一方、地域住民の交流の場としての役割も担っています。

震災後の混乱の中、八木さん達は子育てママのサポート、高齢者の居場所コミュニティー作りとものづくり、働く場の創出等次々と活動を展開してきました。その姿勢は温かく一貫していて、困っていることは何か？と常にアンテナを張り、知恵を働かせ問題解決に動いてきました。これからも活動と事業が円滑に進み、ずっと続くよう消費材利用で応援していきたいです。



門脇小学校（石巻市震災遺構）



The people who had evacuated to the school used the classroom podiums and escaped from here to the hill behind the school.

当時の様子を示す展示
© 東 NPO法人 いまのこころ

津波と津波火災の痕跡が残る唯一の遺構。当時学校にいた児童・教職員、避難していた住民は、2台の教壇を橋や梯子にして、裏山に避難して無事だったそう。当時の状況、教訓、教師や児童の思い、そして未来への思いが展示されています。

「震災からの復興とは、そう単純なことではないのです」これは、「現在進行形」と題するパネルの中にあっただ言葉です。13年経っても、復興は終わらない。私たちは、3・11を決して忘れてはいけません！！



門脇小学校の校舎入口

「潮風とうがらし」について

津波被害により、漁業ができない元漁師たちの居場所づくりや漁業に代わるやりがいを作りたい。彼らに生きる力を吹き込みたい！うみねこの想いが「唐辛子栽培」へとつながったのです。手先の器用な漁師の技術は、農業でも大活躍。高齢でも手軽に育て扱える唐辛子の製造販売は、彼らの生きがいや居場所を超え、女川の新しい魅力となっています。



今週配布の9月1回（36週）カタログでうみねこの「潮風とうがらし」の取組みを行います。

潮風のミネラルをたっぷりと浴びて育った、農薬を使わず栽培した激辛の唐辛子。

焼き鳥や揚げ物だけでなくラーメンなどの相性も抜群！赤唐辛子は醤油系スープと、青唐辛子は香りがよく塩系スープによく合います。お好みに合わせてぜひお試しください。持ち運び便利なパウチ型でお出かけ先でも辛さを楽しめます！

利用することで持続的な支援の輪を広げていきましょう！